

令和4年度一般会計決算の概要(ポイント)

決算の全体像

◇ 歳入	④ 6,079億円	←	③ 6,336億円	(△ 257億円)
◇ 歳出	④ 6,019億円	←	③ 6,302億円	(△ 283億円)
◇ 実質収支	④ 28億円	←	③ 13億円	(+ 15億円)

歳入の状況

◇ 主要な一般財源	④ 3,971億円	←	③ 4,138億円	(△ 167億円)
・ 県税	△ 15億円			
・ 地方交付税	△ 24億円			
・ 臨時財政対策債	△ 180億円			
・ 地方消費税清算金	+ 19億円			
・ 地方譲与税	+ 33億円			
◇ その他の歳入	④ 2,108億円	←	③ 2,198億円	(△ 90億円)
・ 国庫支出金	△ 23億円			
・ 繰入金	△ 14億円			
・ 諸収入	△ 16億円			
・ 臨時財政対策債を除く県債	△ 23億円			

歳出の状況

◇ 義務的経費	④ 2,398億円	←	③ 2,405億円	(△ 7億円)
・ 公債費	△ 21億円			
・ 扶助費	+ 14億円			
◇ 投資的経費	④ 789億円	←	③ 907億円	(△ 118億円)
・ 普通建設事業費	△ 134億円			
・ 災害復旧事業費	+ 16億円			
◇ 一般施策経費	④ 2,832億円	←	③ 2,990億円	(△ 158億円)
・ 積立金	△ 169億円			
・ 補助費等	△ 78億円			
・ 物件費	+ 87億円			

※④：令和4年度、③：令和3年度、⑥：平成26年度、⑤：平成23年度

県債等の状況

◇ 県債残高総額は、ピーク時から約1,390億円減少し、1兆円を下回る水準

・④末 9,315億円 ← ⑳末 10,700億円 (△1,385億円)

◇ 交付税措置のない県債残高は、㉓末から約940億円減少

・④末 3,446億円 ← ㉓末 4,384億円 (△ 938億円)

◇ 交付税措置のない県債残高の県税収入額に対する割合は、大きく改善

・④末 2.7倍 ← ㉓末 4.3倍

財政状況の指標（速報値）

※今後の精査により、数値に異動が生じることがあります。

◇ 本県の指標はいずれも基準をクリア

〈資金繰りの状況を表す指標〉

指標の種類	R4	R3	基準
公営企業等を除く会計の赤字の比率(実質赤字比率)	「－」 (△0.90%)	「－」 (△0.44%)	<3.75%>
全ての会計の赤字の比率(連結実質赤字比率)	「－」 (△10.05%)	「－」 (△9.88%)	<8.75%>
公債費の比重を示す比率(実質公債費比率)	9.5%	9.0%	<25%>

〈負債の状況を表す指標〉

指標の種類	R4	R3	基準
県債残高だけでなく公営企業会計や公社・3セクの負担も含めた、一般会計が将来負担すべき負債の比率(将来負担比率)	112.7%	115.3%	<400%>

※表中、基準欄の数値は、法律により財政健全化計画等の策定が義務付けられる基準